



設置、メンテナンス、アップグレード

- [AC 電源を介した装置への電源供給 \(1 ページ\)](#)
- [DC 電源ケーブルを介した装置への電源供給 \(2 ページ\)](#)
- [DC 端子ブロックアダプタを介した装置への電源供給 \(3 ページ\)](#)
- [ネットワークへの接続 \(4 ページ\)](#)
- [ファントレイの取り外しと交換 \(5 ページ\)](#)

AC 電源を介した装置への電源供給

安全上の警告

次の警告を記録しておいてください。



警告 AC アプライアンスのペアは切断として使用されます。AC プラグは、適切にアースされた AC コンセントに接続する必要があります。

AC 電源接続を介してユニットに電力を供給するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 AC プラグを AC アプライアンス カブラに接続します。

ステップ 2 電源コードを適切な電源コンセントに差し込みます。

電源 LED が点灯し、モジュールの電源が入っていることを示します。

DC 電源ケーブルを介した装置への電源供給

安全上の警告

次の警告に注意してください。



警告

各入力は、4.0 A ～ 5.0 A の外部に取り付けられた高速動作ヒューズまたは同等品で保護する必要があります。電源ごとに1つのヒューズが必要です。次の作業を行う場合は、事前にすべての電源をオフにしてください。ヒューズを取り外すことは、切断方法として使用できます。

ヒューズは、アース線ではなく、ライブ導線に取り付ける必要があります。

装置の DC バッテリ リターン (BR) 入力端子は、機器のフレームまたは機器のアース手段に接続されていないため、GR-1089-CORE 要件に遵守した DC-I として構成する必要があります。

DC 電源ケーブルを使用して装置に電源を供給するには、次の手順を実行します。

始める前に

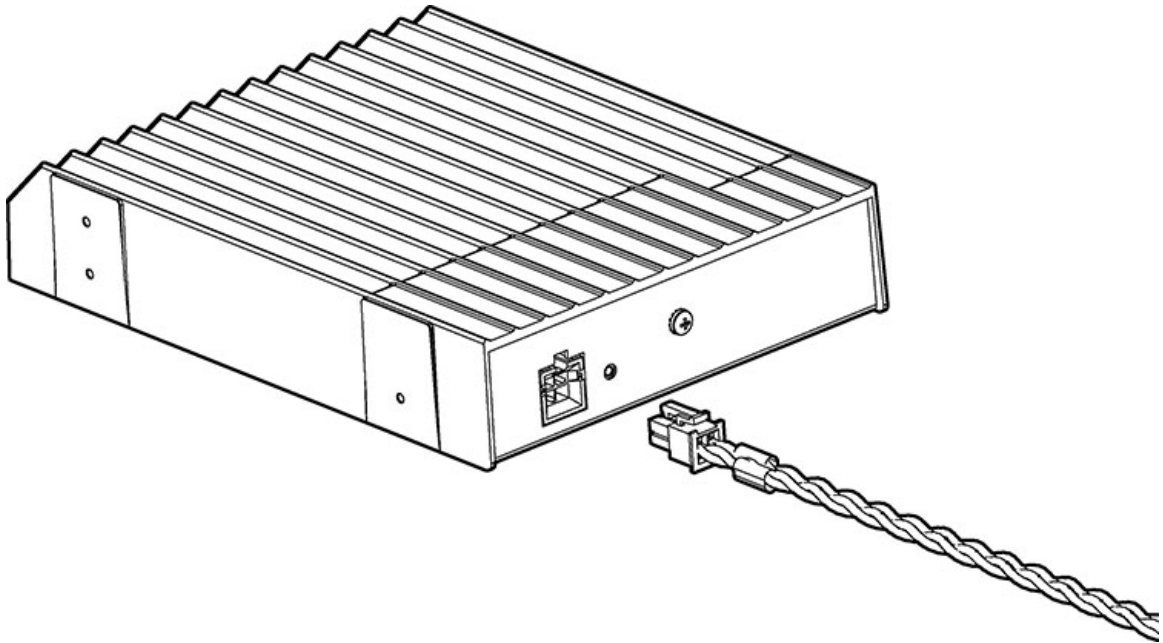
- DC 電源装置の取り付けを開始する前に、シャーシアースがシャーシに接続されていることを確認します。手順については、[シャーシの接地](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 ケーブルの端と電源を適切に接続します。

ステップ 2 DC コネクタをモジュールの背面に接続します。

図 1: DC コネクタの接続



DC 端子ブロックアダプタを介した装置への電源供給

安全上の警告

次の警告に注意してください。



警告

各入力は、4.0 A～5.0 A の外部に取り付けられた高速動作ヒューズまたは同等品で保護する必要があります。電源ごとに1つのヒューズが必要です。次の作業を行う場合は、事前にすべての電源をオフにしてください。ヒューズを取り外すことは、切断方法として使用できます。ヒューズは、アース線ではなく、ライブ導線に取り付ける必要があります。

装置の DC バッテリ リターン (BR) 入力端子は、機器のフレームまたは機器のアース手段に接続されていないため、GR-1089-CORE 要件に遵守した DC-I として構成する必要があります。

端子ブロックアダプタを介して装置に電源を供給するには、次の手順を実行します。

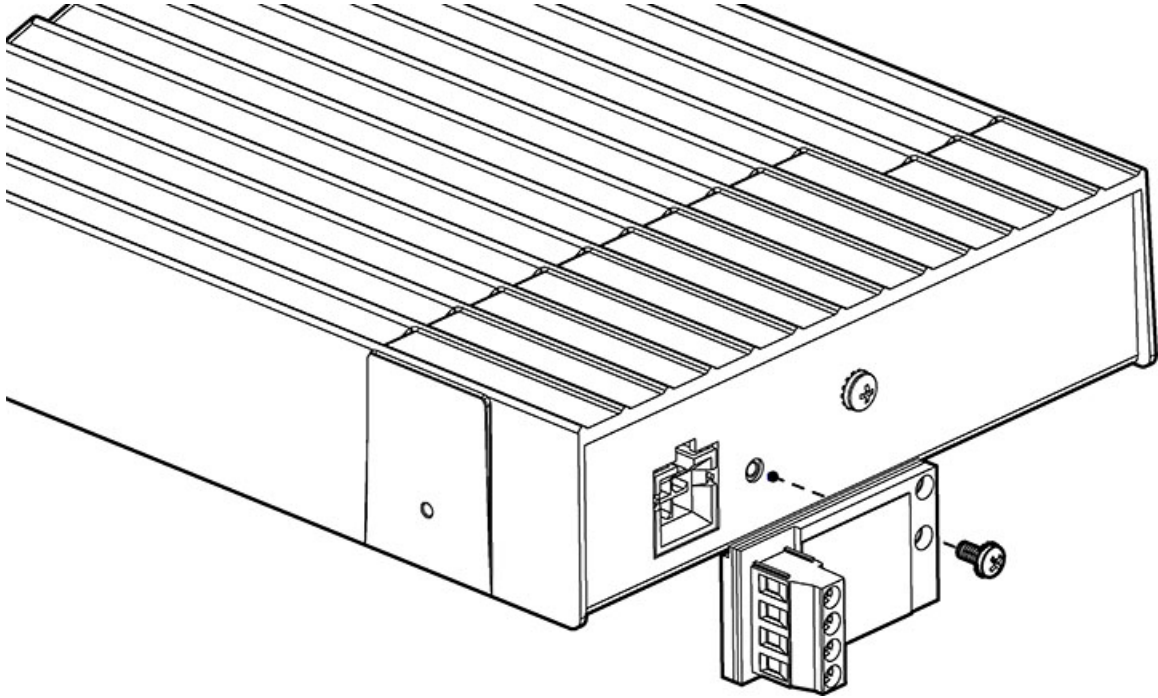
始める前に

- DC 電源装置の取り付けを開始する前に、シャーシアースがシャーシに接続されていることを確認します。手順については、[シャーシの接地](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 モジュールの背面に端子ブロック アダプタを固定します。

図 2: 端子ブロックアダプタの固定



ステップ 2 ワイヤと電源を適切に接続します。

ステップ 3 アダプタの端末ブロックコネクタにワイヤを接続します。

(注)

適用可能なワイヤ範囲：12 ～ 22 AWG

ネットワークへの接続

事前定義されたネットワークアーキテクチャに従って、適切なメディアタイプをモジュールの適切なポートに接続して、モジュールへのイーサネット接続を確立します（[前面パネル](#)を参照）。



(注) 詳細については、ユーザー向け資料を参照してください。

ファントレイの取り外しと交換

この手順では、ファンに障害が発生した場合にファントレイを交換する方法について説明します。ファン交換キット SKY-FANKIT-MOD10G=には、1つのファンが含まれています。モジュール 10G には、ユニットの過熱を防ぐために設計された2つのファンがあります。ファンは、障害が発生した場合に備えて別の交換可能なファントレイに取り付けられます。この手順では、ファントレイを交換する方法について説明します。この手順は、ファントレイを取り外してから5分以内に完了することを推奨します。これは、ユニットが過熱状態になるのを防ぐためです。



(注) この手順は、次の PID にのみ適用されます。

- SKY-MOD10G-H-DD
- Skype-MOD10G-HA



(注) ファン交換キット SY-FANKIT-MOD10G= を別途注文する必要があります。



注意 ファントレイの交換手順は、装置への熱影響を軽減するために5分以内に完了する必要があるため、慎重に計画する必要があります。

安全上の警告

人体の安全を確保し、装置を正しく操作するために従う必要がある安全上のガイドラインを次に示します。装置で直接作業するすべての担当者は、ここに記載されている作業を実行するためのトレーニングを受け、承認され、資格を持っている必要があります。開始する前に、次のガイドラインを読み、従う必要があります。

- プロセス中、装置の電源はオンのままにします。
- 怪我、機器の損傷、サービスの中断を避けるために、ファンの可動部品に指を近づけないでください。
- この装置は、静電放電（ESD）に敏感です。取り扱う際は、適切に機能するヒールグラウンダー、静電気防止用リストストラップ、または別の個人用接地デバイスを着用してください。
- 取り扱いを誤った場合、保証が無効になる場合があります。

次の警告を記録しておいてください。



警告 ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



警告 ステートメント 1093 - 鋭利な端部に触れないこと

怪我のリスクがあります。交換可能なユニットの取り付けまたは取り外しの際は、鋭利な端部に触れないようにしてください。



ファントレイの交換

次のメモリが必要です。

- 交換用ファン トレイ
- モジュール 10G
- スロット付き #1 プラス ドライバー

図 3: ファントレイの交換項目



ファントレイを取り付けるには、以下の手順に従います。

手順

ステップ 1 モジュール 10G を手前に向けて、ドライバを使用してファントレイの左右のネジを緩めます。

図 4: ネジを緩める



ステップ 2 ファントレイを手前にスライドさせて取り外します。これを保持する必要はありません。適切な電子リサイクルの対象にします。

ステップ 3 新しい交換用ファントレイを取り出し、モジュール 10G にスライドさせます。

図 5: 交換用ファントレイをモジュールにスライドさせる 10G



ステップ 4 左右のネジを締めて、交換用ファントレイをモジュール 10G に固定します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。